

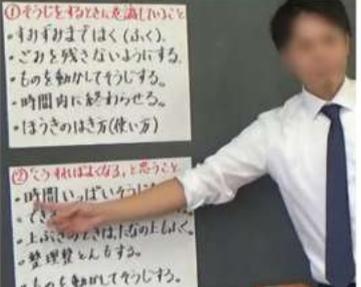
# 特別活動プロジェクト研究通信(No.7)

## 「なりたい自分に向けてがんばる力」を育てる小学校の特別活動 ー学級活動における個々の意思決定とそれに基づく実践の充実を通してー



10月29日(火)、D校にて第5学年W教諭による実証授業および研究協議会を開催しました。授業の内容や子どもたちの様子、研究協議で話し合ったことを中心にお伝えします。

### 第5学年 学級活動(3)イ「そうじの達人になろう」 めあて「今よりもさらにそうじをレベルアップするための目標を考えよう」

つかむ		<p><b>アンケートの提示</b>  <b>清掃活動の様子を映した写真を提示</b></p> <p>アンケート結果や清掃活動の様子を映した写真を基にこれまでの清掃活動を振り返ることで、これまで自分たちが頑張ってきた成果を認めるとともに、今後の課題について話し合いました。児童は清掃活動が終わった直後でもごみが落ちていたり、絵の具セットが整理されていない現状を知り、問題意識を高めました。</p>	<p><b>自分たちの現状を客観的に把握する</b></p>
さぐる		<p><b>テーマパークの清掃員の話の提示</b>  <b>清掃活動の目的を考える時間の設定</b></p> <p><b>これまでの取組を振り返り、これから取り組みたいことを意識する</b></p> <p>テーマパークの清掃員がお客様のために心を込めて清掃をしていることを知り、自分たちは何のために清掃活動をするのかを考えました。「自分や友達が勉強しやすい環境を作るため」「学校のみながトイレなどを気持ちよく使えるため」などの発言を基に、「自分のため」「友達のため」「学校のため」という視点があることに気がきました。</p>	
見つける		<p><b>「目標ボード」の活用</b>  <b>全体交流で考えを分類して整理</b></p> <p>目標ボードを活用してグループで解決方法を交流しました。みんなで出し合った後、その中でおすすめの一つを決めることで、考えを比べ合いました。その後、全体交流では児童が発表した解決方法を「自分のため」「友達のため」「学校のため」に分類して考えを整理しました。</p>	<p><b>仲間との話し合いを生かして考えを広げる</b></p>
決める		<p><b>「なりたい自分になりまシート」の活用</b></p> <p>時間の関係で後日での実施となりましたが、友達との意見交流や「目標ボード」を参考にしながら「なりたい自分になりまシート」に自分の目標を書きました。</p>	<p><b>自分に合った具体的な解決方法(目標)を決める</b></p>

## 研究協議より

### ①児童は問題意識をもつことができたか

- ◆児童のこれまでの清掃活動を振り返り、課題に気付くことで問題意識を高めることができていた。
- ◆テーマパークの清掃員の話聞くことで、子どもから「自分のため」「友達のため」「学校のため」というキーワードが出てきた。

### ②児童は「目標ボード」を活用することで考えを広げることができたか

- ◆みんなのアイデアの中からおすすめの1つを選ぶことで話し合いの必然性ができた。一方で、十分に話し合って決める時間が取れなかった。
- ◆全体交流を通し他のグループの意見を知ることができた。1人1台端末も有効に使いたい。
- ◆児童の考えを分類することで、何のために行うのかをより意識することができた。
- ◆はっきりと分類できるような内容ではなかったため、最終的に「あなたは何のためだと思う?」と発表者の意見に沿って板書したのは妥当だった。

### ③児童は「なりたい自分になりまシート」を活用して、自分に合った具体的な目標を決めたり、「なりたい自分の姿」に関連した目標を書いたりすることができたか

- ◆なりたい自分の姿と自分の目標の違いがはっきりとわかっていない子どももいたのではないかと。題材によって区別のしやすいものとそうでないものがある。
- ◆具体的な目標を立てられない児童もいることが想定されるが、今後の「やる気アップ交流会」で活動を振り返り、必要に応じて目標を修正することが必要。

## 研究委員の先生方の振り返り

- 児童の考えを分類するための思考ツールについてさらに勉強したい。
- 「～のために」という理由に関係する部分はどの授業においても大切なのでこだわっていききたい。
- 何度も学級活動(2)、(3)を積み上げているので授業の流れや教材の使い方を子どもたちが把握できている。このような子どもが安心して授業に参加できる素地づくりがあるからこそ、意欲的な姿が見られたのだと思う。
- 題材に合わせて交流の仕方や自己決定の仕方も変わっていくべきだと感じた。



## 編集後記

今回の実証授業で4名の先生方の実証授業が全て終了しました。学校行事も盛んにおこなわれる時期に、お忙しい中参加していただきありがとうございました。また、実践校におかれましても、研究委員の先生方の出張に御配慮いただきありがとうございました。次回は11月12日(火)に総合教育センターで開催いたします。いよいよ最後の研究会です。半年間の研究の成果と課題を振り返りたいと思います。引き続き、よろしくお願いいたします。



滋賀県総合教育センター 研究員 中波 慎